

# 平成31年度実施沖縄県公立学校教員候補者選考試験の概要

## 沖縄県教育委員会

### 主なスケジュール（予定）

願書の受付 平成31年4月19日（金）～4月26日（金）（郵送のみ）  
 ※インターネットでの書類作成（電子申請）は、平成31年4月12日（金）0時～4月24日（水）21時59分

第1次選考試験日 平成31年7月14日（日） 1次合格発表：平成31年8月中旬  
 第2次選考試験日 平成31年8月23日（金）～8月25日（日） 2次合格発表：平成31年9月上旬  
 第3次選考試験日 平成31年9月14日（土）～9月15日（日） 最終合格発表：平成31年10月下旬

主管課 沖縄県教育庁学校人事課（〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 13階）

### 選考で重視する視点

次の「求める教員像」に合致する者を選考する。

- 人間性豊かで、教育者としての使命感と幼児児童生徒への教育的愛情のある教員
- 幅広い教養と教育に関する専門的知識・技能を有し、常に学び続ける実践的指導力のある教員
- 沖縄県の自然、歴史及び文化に誇りを持ち、多様性を受容し、グローバルな視点を兼ね備えた教員
- 豊かなコミュニケーション能力を有し、組織力を活用できる総合的な人間力を持った教員

### 募集校種・教科等

校種等	教科等
(1) 小学校教諭等	
(2) 中学校教諭等	国語、社会、数学、理科、保健体育、技術、英語
(3) 高等学校教諭等	国語、地理歴史、公民、数学、理科（物理）、理科（化学）、理科（生物）、保健体育、英語、情報、農業、工業（機械）、工業（電気）、工業（建築）、工業（土木）、商業、水産、家庭（調理）
(4) 中学校・高等学校教諭等（共通）	音楽、美術、家庭
(5) 特別支援学校小学部教諭等	
(6) 特別支援学校中学部・高等部教諭等（共通）	保健体育、音楽、美術
(7) 養護教諭等	

ア 高等学校教諭等「家庭（調理）」は、特別選考でのみ募集する。

イ 1人が受験できるのは、上記のうちいずれかの校種等に限りに、校種等の中にさらに教科等の区分がある場合は、そのうちのいずれかの教科等に限る。

ウ 上記(2)～(4)の区分で合格した者のうち一部は、特別支援学校中等部又は高等部に配属になることがある。

エ 「教諭等」には、任用の期限を付さない常勤講師を含む。なお、日本国籍を有しない者を採用する場合には、任用の期限を付さない常勤講師とする。

### 受験資格

次のすべてに当てはまる者とする。

- (1) 昭和49年4月2日以降に出生した者
- (2) 地方公務員法（昭和25年法律第261号）第16条及び学校教育法（昭和22年法律第26号）第9条の規定に該当しない者
- (3) 活字印刷又は点字により出題される試験に対応できる者
- (4) 平成32年4月1日時点で有効な、受験する教科等の教育職員普通免許状（以下「免許状」という。）を所有している（平成32年3月31日までに取得見込みの場合を含む。以下同じ）者で、有効期限の更新又は更新講習修了確認をする必要がある場合、必要な手続を同日までに終えることができる者。ただし、高等学校教員資格認定試験合格により授与された看護、柔道、剣道、情報技術、建築、インテリア、デザイン、情報処理、計算実務の普通免許状は除く。

## 選考の種類

「一般選考」「身体に障がいのある者を対象とした特別選考」「スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考」「特定の資格を有する者を対象とした特別選考」の4種類の選考を行う。

### (1) 一般選考

	校種・教科等	第1次試験 (7/14)	第2次試験 (8/23～8/25)	第3次試験 (9/14～9/15)
ア	小学校教諭等	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆記試験（専門試験並びに一般教養及び教職教養試験。「英語」及び「音楽」では音声による出題を含む。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適性検査</li> <li>模擬授業</li> <li>音楽実技</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論文試験</li> <li>個人面接（英語含む）</li> <li>体育実技</li> </ul>
イ	中学校教諭等のうち「保健体育」、高等学校教諭等のうち「保健体育」及び「農業」、中学校・高等学校教諭等（共通）のすべての教科		<ul style="list-style-type: none"> <li>実技試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適性検査</li> <li>論文試験</li> <li>模擬授業</li> <li>個人面接</li> </ul>
ウ	イを除く中学校教諭等、高等学校教諭等及び養護教諭		<ul style="list-style-type: none"> <li>適性検査</li> <li>模擬授業</li> <li>英語面接及び英作文（「英語」受験者）</li> </ul>	
エ	特別支援学校小学部教諭等		<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽実技</li> <li>特別支援学校専門筆記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適性検査</li> <li>論文試験</li> <li>模擬授業</li> <li>個人面接</li> </ul>
オ	特別支援学校中学部・高等部教諭等（共通）		<ul style="list-style-type: none"> <li>実技試験</li> <li>特別支援学校専門筆記</li> </ul>	

### (2) 身体に障がいのある者を対象とした特別選考

最終合格者見込み数	若干名（一般選考試験の最終合格者見込み数を含む。）
受験資格	「募集校種・教科等（1ページ）」の(2)から(6)までのいずれかの校種・教科等を受験する者で、一般選考の受験資格に加え、身体障害者手帳の交付を受けており、その障がいの程度が1級から6級までの者
留意事項	<p>ア 試験は原則として一般選考と同様に行い、合否の判定は一般選考と別に行う。</p> <p>イ 受験に際しての配慮を希望する者は、必要書類の該当欄にその内容を記入すること。</p> <p>ウ 本特別選考の受験資格を満たしていても、本特別選考を受験せず一般選考試験を受験することも可能である。</p>

### (3) スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考

最終合格者見込み数	若干名（一般選考試験の最終合格者見込み数を含む。）
受験資格	<p>一般選考の受験資格に加え、次のア又はイの条件に該当する者</p> <p>ア スポーツ分野 中学校教諭等「保健体育」又は高等学校教諭等「保健体育」を受験する者で、学校教育活動に資すると認められる種目において秀でた技能・実績を持ち、国際的規模の競技会（オリンピック、ワールドカップ、世界選手権、アジア競技大会（OCA主催））に日本代表として出場し、優秀な成績を収めた者やその指導者</p> <p>イ 芸術分野 中学校・高等学校教諭等（共通）の「音楽」又は「美術」を受験する者で、受験する教科に関連する分野において秀でた技能・実績を持ち、国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者やその指導者</p>
留意事項	<p>ア 審査の結果、特別選考に該当するか否かは7月上旬までに通知する。</p> <p>イ 資格に該当すると認められた者は、第1次試験及び第2次試験を免除し、第3次試験を</p>

	<p>受験する。第3次試験の詳細については、一般選考試験の第2次試験合格通知と同時期に発送する。</p> <p>ウ 資格に該当すると認められなかった者には、第1次試験の受験票を送付する。</p> <p>エ この特別選考により第1次試験及び第2次試験の免除を受けられるのは、1回までとする。</p>
--	--

(4) 特定の資格を有する者を対象とした特別選考(高等学校教諭等「家庭(調理)」)

最終合格者見込み数	若干名(一般選考試験の最終合格者見込み数に含まない)
受験資格	<p>一般選考の受験資格に加え、次のアからイまでのすべてに該当する者</p> <p>ア 高等学校の「家庭」の免許状を所持する者</p> <p>イ 調理師免許を有する者</p>
留意事項	<p>ア 特別選考に該当するか否かは7月上旬までに通知する。</p> <p>イ 資格に該当すると認められた者は一般選考の第1次試験を受験し、第1次試験に合格した場合は第2次試験を免除して第3次試験を受験する。</p> <p>ウ 資格に該当すると認められなかった者は一般選考の中学校・高等学校教諭等(共通)「家庭」を志願したものとする。</p> <p>エ 本選考により採用された者の勤務地は、原則として調理師養成課程を有する高等学校とする。</p>

**第1次試験における一部試験免除・加算**

次に該当する者で、第1次試験における一部試験免除を希望する者に対しては、第1次試験の一般教養及び教職教養試験を免除し、専門試験を課す。

(1) 本県臨任等の経験を有する者を対象にした一部試験免除

免除を受ける資格	<p>次のアからウのすべてを満たしていること。</p> <p>ア 本県の国公立学校(県立、市町村立又は国立大学法人附属の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校をいう。)における正規任用の教諭、常勤講師及び養護教諭、臨時的任用の教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭及び常勤講師並びに非常勤講師(以下「臨任等」という。)としての勤務経験を、平成24年4月から平成31年3月までの間に通算して60月以上有していること。ただし、非常勤講師の勤務経験は実際の勤務月数の8割として計算する。</p> <p>イ 平成31年4月以降の臨任等経験として、次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当すること。</p> <p>(ア)平成31年4月から出願までの間に、本県の国公立学校での臨任等としての勤務経験があること。</p> <p>(イ)平成31年4月から本県の公立学校での臨任等としての勤務を希望し、平成31年3月末日までに学校人事課又はいずれかの教育事務所にその旨の登録を行っていること。</p> <p>ただし、平成31年4月以降の臨任等の任用を断ったり、その連絡に応じない等の場合は、原則として免除の対象としない。</p> <p>臨任等の任用に係る連絡に応じられるよう、臨任等の勤務希望を登録した教育事務所及び学校人事課の電話番号を事前に確認すること。</p> <p>ウ 出願年度の4月1日現在で、本県の正規任用の教職員として勤務していないこと。</p>
留意事項	<p>ア 免除の可否は受験票に記載して通知する。なお、提出書類は一切返却しない。</p> <p>イ 免除を受ける者は、第1次試験当日、専門試験の終了後に試験場を退出すること。会場内では試験が実施中であるため、静粛を保つこと。</p> <p>ウ 免除を受けられなかった場合、通常の実験者と同様に一般教養及び教職教養試験を受験すること。</p> <p>エ 一部試験免除を受けた場合、一般教養及び教職教養試験の得点は、専門試験の得点率と同様として計算して合否を判定する。</p>

次の(2)から(5)までのいずれかに該当する者で、第1次試験における加点を希望する者に対しては、第1次試験の得点に加点する。なお、複数に該当する場合、加点は最大で20点とし、加点の結果は満点を超えないものとする。

また、いずれかの加点を希望する者は、必ず電子申請で願書を作成しなければならない。

(2) 特定の資格を有する者を対象にした加点(特別支援学校免許等)

加点を受ける資格	平成31年3月末日までに授与された1以上の領域における特別支援学校教諭普通免許状(盲・聾・養護学校普通免許状を含む。)を有していること。
留意事項	ア 提出書類となる資格を証明する書類は、以下のとおりである。 対象となる免許状の写し又は免許状授与証明書(原本) イ 加点の可否は受験票に記載して通知する。なお、提出書類は一切返却しない。 ウ 該当する者は、免許の領域の種類や数にかかわらず、1次試験の専門試験の点数に10点を加点する。

(3) 特定の経験を有する者を対象にした加点(国際貢献活動)

加点を受ける資格	青年海外協力隊その他のボランティア(独立行政法人国際協力機構が派遣するものに限る。)として、海外に2年以上派遣された経験を有していること。
留意事項	ア 提出書類となる資格を証明する書類は、以下のとおりである。 独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長が発行した派遣証明書(原本) イ 加点の可否は受験票に記載して通知する。なお、提出書類は一切返却しない。 ウ 該当する者は、1次試験の専門試験の点数に20点を加点する。

(4) 特定の資格を有する者を対象にした加点(海技免状)

加点を受ける資格	次のア及びイの両方を満たしていること。 ア 高等学校教諭等「水産」を受験する者で、三級海技士(航海)若しくは三級海技士(機関)の資格又はこれらより上級の資格の海技士、又は海技士(内燃機関)の資格を有していること。 イ アの資格を取得してから1年以上の乗船経験を有すること。
留意事項	ア 提出書類となる資格を証明する書類は、以下のとおりである。 海技免状の写し及び乗船経験を証明する書類(船員手帳の写し等) イ 加点の可否は受験票に記載して通知する。なお、提出書類は一切返却しない。 ウ 該当する者は、一次試験の専門試験の点数に10点を加点する。

(5) 特定の資格を有する者を対象にした加点(英語に関する資格)

加点を受ける資格	次のア又はイのいずれかを満たしていること。 ア 小学校教諭等又は特別支援学校小学部教諭等を受験する者で、次のいずれかの資格を有する者 (ア) 英語に係る中学校又は高等学校教諭普通免許(平成31年3月末日までに授与されたものに限る。) (イ) 実用英語技能検定準一級以上、TOEFL iBT® 80点以上又はTOEIC® Listening&Reading Test 730点以上のいずれか イ 中学校教諭等「英語」又は高等学校教諭等「英語」を受験する者で、次のいずれかの資格(出願の2年前の4月1日以降に受験し、取得したものに限り)を有する者 (ア) 実用英語技能検定一級、TOEFL iBT® 100点以上又はTOEIC® Listening&Reading Test 945点以上のいずれか (イ) 実用英語技能検定準一級、TOEFL iBT® 80点以上又はTOEIC® Listening&Reading Test 730点以上のいずれか
留意事項	ア 提出書類となる資格を証明する書類は、以下のとおりである。 (ア) 英語に係る中学校又は高等学校教諭普通免許 → 免許状の写し又は免許状授与証明書(原本) (イ) 実用英語技能検定 → 合格証明書又は合格証書(原本) (ウ) TOEFL iBT® → Test Taker Score Report (郵送による受験者用控えスコアレポート)(原本)

(エ) TOEIC® Listening&Reading Test → Official Score Certificate  
(公式認定証) (原本)

イ 資格を証明する書類の詳細については、それぞれの検定等の実施者に問い合わせること。  
ウ 中学校教諭等及び高等学校教諭等を受験する者が加点を受ける場合には、指定した期間以前に取得した級及びスコアは該当しない。加点を希望する場合は、該当する期間に再度取得すること。

エ 加点の可否は受験票に記載して通知する。なお、**提出書類は一切返却しない。**

オ 第一次試験の専門試験の得点に、加点を受ける資格のアに該当する者には10点を、イ(ア)に該当するものには20点を、イ(イ)に該当する者には5点を加点する。

## 第1次試験

試験期日	平成31年7月14日(日曜日)
試験会場	那覇市及びその周辺 ※那覇高校、那覇商業高校、小禄高校、浦添高校、那覇国際高校及び那覇西高校を予定しているが、これら以外の会場になる場合もある。具体的な会場名は受験票に記載して通知する。

## 第2次試験

期日	1日目・8月23日(金)	2日目・8月24日(土)	3日目・8月25日(日)
会場(予定)	小禄高校	那覇高校 小禄高校 南部農林高校 那覇西高校・那覇市立金城中学校	那覇高校
時間	午前 午後	午前 午後	終日
試験内容	小学校教諭等 ・適性検査 ・論文試験 ・音楽実技	・模擬授業 ・個人面接 ・実技試験	・体育実技
「保健体育」「農業」「音楽」「美術」及び「家庭」	/		/
「英語」	・適性検査 ・論文試験 ・英作文 ・英語面接	・個人面接	・模擬授業
上記以外の校種・教科等	・適性検査 ・論文試験	・個人面接	・模擬授業
特別支援学校小学部教諭等	・特別支援学校専門筆記 ・音楽実技	/	
特別支援学校中等部・高等部教諭等(共通)	・特別支援学校専門筆記	・実技試験	/

## 第3次試験

第3次試験は、「保健体育」「農業」「音楽」「美術」及び「家庭」の教科等を希望する者で第2次試験を合格した者、特別支援学校小学部教諭等を希望する者で第2次試験を受験した者に対して行う。

期日	1日目・9月14日(土)	2日目・9月15日(日)	
会場	真和志高校(予定)		
時間	午前	午後	終日
試験内容	・適性検査 ・論文試験	・個人面接	・模擬授業

## 出願手続

出願の方法には、「インターネットを利用して必要事項を入力し、提出する方法(電子申請)」「インターネットを利用して出願に必要な書類をダウンロード・印刷して手書きで記入し、提出する方法」「郵送で必要な書類を請求して手書きで記入し、提出する方法」の3種類がある。いずれの場合も、最後は郵送による提出が必要となるので注意すること。

### (1) インターネットを利用して必要事項を入力し、提出する方法(電子申請)

※第1次試験における一部試験免除・加点について、この方法でのみ申請することができる。

※インターネット接続、メールの送受信及び書類の印刷が可能なのは、できるだけこの方法で出願すること。

作業の流れ	ア 電子申請システム利用者IDの取得・基本情報の入力・必要書類の印刷 イ 電子申請終了後の各作業(本人の署名欄等への手書き、写真・切手の貼付等) ウ 書類の提出
入力期間	平成31年4月12日(金)0時～4月24日(水)21時59分
必要な環境	ア インターネットのできるPC端末 イ プリンター ウ A4用紙(通常のコピー用紙。色つきの用紙やケント紙等の厚紙は使用しないこと) エ メールアドレス

### (2) インターネットを利用して出願に必要な書類をダウンロード・印刷して手書きで記入し、提出する方法

※第1次試験における一部試験免除・加点について、この方法での申請は行えない。(1)の方法で申請すること。

ダウンロード可能期間	平成31年4月17日(水)正午から
方法	ア 出願に必要な書類のダウンロード及び印刷 イ 書類の記入等 ウ 書類の提出

### (3) 郵送で必要な書類を請求して手書きで記入し、提出する方法

※第1次試験における一部試験免除・加点について、この方法での申請は行えない。(1)の方法で申請すること。

書類の返送期間	平成31年4月17日(水)以降順次
方法	ア 出願に必要な書類の請求 次のあて先に、返信用封筒として、書類の送付先の住所・氏名(敬称は「様」か「殿」とすること。)を記入して250円切手を貼り付けた角形2号封筒(縦33.2cm、横24cm)を送付すること。送付する封筒の表には「教員試験願書請求」と朱書きすること。 あて先： 〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 沖縄県教育庁学校人事課 注意事項： ① 書類は平成31年4月17日(水)以降、順次返送する。4月17日以降に到達したものについては、到達後1～2日(土・日・祝日を除く)で返送する。往復の郵送に要する日

	<p>数を考慮し、余裕を持って請求すること。</p> <p>② 返信用封筒は折り曲げてよい。</p> <p>③ 返信に速達を希望する者は、必要な切手を追加で貼り付け、封筒上部に「速達」と朱書きすること。</p> <p>④ 教育庁学校人事課、各教育事務所、沖縄県県外事務所及び県内各大学での配布は行わない。</p> <p>イ 書類の記入等</p> <p>ウ 書類の提出</p>
--	---

(4) 出願書類の提出方法((1)~(3)共通)

出願に必要な書類は、**郵送のみ**受け付ける。

<p>提出方法 (郵送のみ)</p>	<p>ア 用意した封筒を、<b>特定記録又は簡易書留で郵送すること。</b></p> <p>イ 受付期間 <b>平成31年4月19日(金)～4月26日(金)※当日消印有効</b></p> <p>注意事項：</p> <p>① 特定記録又は簡易書留は郵便局の窓口でのみ引き受けており、ポストに投函することはできないので注意すること。</p> <p>② <b>出願最終日に郵送する場合には、特定記録又は簡易書留に加え、速達とすること。</b></p> <p>③ 書類が到達したか否かの問い合わせには応じない。追跡サービス等で確認すること。</p>
------------------------	--